

- 1 実施日時 令和7年2月10日（月）
- 2 実施学年 3年
- 3 実施教科 社会
- 4 単元名 「火事から人々を守る」
- 5 学習の流れ



消防署で働く人々の取組を学習したのち、他にも火事から私たちの安全を守る仕組みがあるのか調べることにした。その中で、火災報知器など校内にも火事があったときに働く施設があることに気づき、校内にどのような消防施設がどのくらいあるのかを調べることにした。

6 Chromebook の活用

- コラボノート EX を用いながら少人数グループで校内のどこにどのような消防施設があるかを調べ、記録をした。
- 各グループの記録を一人一人が Chromebook を見ながら共有し、校内の消防施設について考えをまとめた。



7 児童・生徒の様子

校内の消防施設を見付けるという活動と教材の目新しさが合わさり、意欲的に校内を回っていた。見つけた場所が地図のどこに当たるかに四苦八苦しながらも見つけた消防施設を丁寧に記録していた。少人数で行うことで、助け合いながら記録する様子も見られた。

それぞれの記録を共有した際は、一人一人が自己の chromebook を見て、違うグループの記録を比べていた。その中で「どのグループを見ても様々な種類の施設があることが分かる。」や、「同じ間隔で消火器が置かれていることが他のグループから分かった。」など、間近で教材を見れたことで多くの気づきが挙がった。



8 振り返り

何かを操作するという活動は、児童の意欲を刺激する良い教材になることを改めて実感することができた。また、これまでであれば校内の地図に色シールを張ったものを黒板に並べて比べるところを、一人一人がそれぞれの画面で比べることができるため、より丁寧に比較をすることができた。カラーの教材をこれまで以上に手軽に扱えることも ICT 活用の大きなメリットであると考えられる。

